

Study on proton and deuteron nuclear data relevant to the development of intense accelerator-based neutron sources

竹下, 隼人

<https://hdl.handle.net/2324/4784669>

出版情報 : Kyushu University, 2021, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名	竹下 隼人			
論 文 名	Study on proton and deuteron nuclear data relevant to the development of intense accelerator-based neutron sources (高強度加速器中性子源開発に関連した陽子および重陽子核データに関する研究)			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	渡辺 幸信
	副 査	九州大学	教授	榊 泰直
	副 査	九州大学	教授	池田 伸夫

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、高強度加速器中性子源の設計に必要となる重陽子入射二次中性子生成収量および陽子入射核種生成断面積の系統的な実験データを新規取得して、既存の核反応理論モデルや核データの精度検証を行い、二次中性子及び残留放射能計算への適用可能性や問題点を明らかにしたものであり、放射線・原子核工学の発展に寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位に値するものと認める。